

資料 7 - 2 活動実績及び財務諸表等参考資料

(アイデア審査免除分)

No	区分	提案者名	備考
4	自由提案型	ベジガールズ 全世代に向けた運動支援	第3回会議 資料7を参照 (提案3と同じ団体)
5		NPO法人ハートフルコミュニケーション 千葉エリア	本資料(貸借対照表)
7		印西・地域猫友の会	本資料(活動報告及び会計報告書)
8		NPO法人亀成川を愛する会	本資料(事業報告及び決算報告)

令和 4年 9月30日 現在

特定非営利活動法人ハートフルコミュニケーション

(単位：円)

科 目	金	額
I 資 産 の 部		
1 流 動 資 産		
現金・預金	20,156,844	
書籍・出版物	418,682	
売掛金	20,000	
未収入金	15,130	
流動資産合計		20,610,656
2 固 定 資 産		
(1)有形固定資産		
工具器具備品	2	
有形固定資産計	2	
(2)投資その他の資産		
長期前払費用	0	
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		2
資 産 合 計		<u>20,610,658</u>
II 負 債 の 部		
1 流 動 負 債		
買掛金	0	
未払法人税等	74,500	
預り金	53,449	
前受金	0	
流動負債合計		127,949
2 固 定 負 債		
固定負債合計		0
負 債 合 計		127,949
III 正 味 財 産 の 部		
前期繰越正味財産額		20,974,333
当期正味財産増減額		<u>-491,624</u>
正 味 財 産 合 計		<u>20,482,709</u>
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計		<u>20,610,658</u>

第1議案 2023年度 活動報告

会員総数：127名（2024年3月31日現在） 2023年度新規入会人数：14人

昨年度も「自宅付近で餌やりをしている外猫の不妊去勢手術をしたい」「現在は地域猫に関わっていないが、何か地域猫活動携わりたい」等の動機で新たに数名の方々が会員に加わりました。

印西市との協働事業をスタートさせる今年度は、より多くの会員の方が地域猫活動の現場で地域猫に携われるよう、会員相互のコミュニケーションを図っていければと思っております。

不妊去勢手術と里親マッチング

昨年度は会全体において、報告を受けているだけでも140匹を超える多数の不妊去勢手術がなされました。

昨年度も不妊去勢手術に着手したエリアが増え、地域猫活動のエリアがさらに広がっております。市の助成金が使えないエリアに関しましては、会から21件分（計325,750円分）の不妊去勢手術に対する補助金をお支払いしております。

また、地域猫活動の現場においては、新たな猫の出現と出産が繰り返されます。昨年度も多くの方により、子猫を中心に個人で保護・里親マッチングがなされました。

市の助成金上限額が引き上げとなりましたので、印西市との協賛病院を中心に、安価で不妊去勢手術をお願いできる病院を増やすべく、早急に協力依頼を行ってまいります。

給餌の現場について

地域猫活動の中心となっております「餌やり」は、不妊去勢手術を施す猫の捕獲のためだけではなく、手術後の地域猫の命をつないでいく大切な活動です。

この「給餌」活動も、会においては一部で地域住民の方との小さなトラブルが数件あるものの、大きな問題に発展せず、全体的には概ね良好であったことに安堵いたしております。

一部の地域においては、怪我や病気を患った猫に治療を施し、多大な労力と治療費を払った方々もおられます。治療費のカンパをされた方々を含めて、頭の下がる思いがいたします。

行政との連携・情報共有

印西市が募集した「企画提案型協働事業」の応募し、企画提案、プレゼンテーションを経て決定し、印西市との契約を締結しました。今後は環境保全課からの依頼案件を含めて、印西市と協力・連携しながら実働部隊として地域猫活動に取り組むことにより、活動費用を捻出することが可能となりました。

2023年度 印西市との協議履歴

年月	相談・打合せ内容	対応
令和5年 5月24日	助成金上限額引き上げと利用要件緩和の 要望及び、協働事業についての打合せ。	助成金の件は引き続き検討するとの返答。 協働事業は、応募への具体的な打合せ。
令和5年 6月23日	協働事業提案書（企画）を提出。	提案内容について大筋合意。
令和5年 7月21日	協働事業第1次プレゼンテーション。 共同事業第1次審査。	審査員過半数の賛同にて通過。
令和5年 8月30日	協働事業提案書（予算）を提出。	提案内容について大筋合意。
令和5年 10月6日	協働事業第2次プレゼンテーション。 共同事業第2次審査。	審査員満票の賛同にて決定。
令和5年 12月	要望中の助成金上限額引き上げと利用要 件緩和に関わる市のアンケートに協力。	要望内容を精査の上、前向きに検討する との返答。
令和6年 1月31日	協働事業に関して、当会と市の具体的な取 り組みについての打合せ。	双方の役割分担、委託費の詳細額等につ いての確認作業。
令和6年 3月20日	協働事業の契約締結に向けた最終打合せ。	事業開始後の取り組みについて最終確認。 助成金上限額引上と利用要件改正の決定。

行政への対応は、会長はじめ運営委員が対応しております。地域猫活動団体中心の活動から、将来的には地域住民と行政による活動のサポート役になることが健全な市民活動であると考えます。

協働事業開始の今年度は、引き続き協議の回数を重ねることで、更なる連携を図ってまいります。

市民からの相談対応

メール問い合わせ等、市民からのご相談に対して、運営委員を中心に対応しております。

2023年度対応実績（40件）

月日	相談内容	対応
7月17日	脱走した家猫の捜索協力依頼。	LINEにて捜査協力。→その後発見。
3月26日	多頭飼育崩壊現場の支援要請。	相談者と面談。→保護団体が主体となって 対応する方向に変更。
年間18件	近所の野良猫に関する相談。 野良猫に不妊去勢手術を施したい。	不妊去勢手術の助成。給餌のアドバイス。 地域猫として関わっていくことを推奨。 2名が入会。

月日	相談内容	対応
年間 20 件	野良猫・地域猫を保護したい旨の相談。	会員が現場確認 対応ケース①子猫を中心に保護。里親募集の助成。 対応ケース②地域猫として面倒を見ていくことをアドバイス。不妊去勢手術の助成。 対応ケース③相談者が保護する際の助成。

昨年度も子猫を中心に、保護したい、保護してほしい旨の問い合わせが多い1年でした。現場に行っても猫を確認できなかったケースもありますが、多くの猫達が救われました。

総会及び運営委員会等開催実績

月日	内容	月日	内容
4月5日	運営委員会 議案書作成の打合せ	8月23日	運営委員会 協働事業予算案の件
5月3日	運営委員会 定期総会に関する打合せ	10月18日	運営委員会 協働事業実働の打合せ
5月6日	定期総会	11月15日	運営委員会 助成金制度改正案の件
5月17日	運営委員会 運営委員の役割分担の件	1月10日	運営委員会 協働事業説明会の件
6月14日	運営委員会 協働事業提案書作成の件	2月7日	臨時例会 協働事業説明会
7月12日	運営委員会 協働事業プレゼンの件	3月30日	運営委員会 協働事業契約調印の件

市との企画提案型協働事業の実現と、助成金上限額引き上げ及び利用要件緩和に向けた働きかけに門する案件を最優先課題とし、運営委員会にて協議してまいりました。

猫餌の配布

昨年度は北陸の震災の影響もあり、イエローシートキャンペーンによる猫餌の配布がなかったものの、会の活動にご賛同いただいた方々から、たくさんの猫餌をご寄付頂きました。

昨年度もこの猫餌を、副会長がご連絡の上、多くの会員にお届けしました。

提携動物病院との連携・協議 手術可能な動物病院の探索

会長を中心に病院長との打ち合わせをすることで、提携動物病院との連携を図っております。また、不妊去勢手術数増大に対応すべく、市内の病院に地域猫の施術の依頼をかけております。

打ち合わせ履歴

月日	内容	月日	内容
5月10日	市との協働事業応募に関する説明。	1月10日	市内動物病院へ提携のお願い。
8月23日	手術可能日に関する相談。	3月30日	市との協働事業開始の報告。

1. 収入の部

単位(円)

費目	2023年度 予算	2023年度 決算	差額	摘要
	(A)	(B)	(B)-(A)	
繰越金	201,512	201,512	0	前年度の繰越金
会費	220,000	168,000	-52,000	83口分 (未納者: 43名)
寄付金	100,000	104,000	4,000	8名分
雑収入	10,000	4,001	-5,999	捕獲器貸出収入、銀行受取利子
合計	531,512	477,513	-53,999	

2. 支出の部

単位(円)

473,513 差額 2900

費目	2023年度 予算	2023年度 決算	差額	摘要
	(A)	(B)	(A)-(B)	
交通費	5,000	0	5,000	他団体との打合せ交通費等
消耗品費	20,000	3,746	16,254	DM用宛名シール等
印刷製本費	5,000	2,250	2,750	議案書印刷代等
通信運搬費	30,000	22,456	7,544	ハガキ、切手代等
備品設備費	12,000	0	12,000	捕獲器等
活動補助費	300,000	325,750	-25,750	不妊去勢費用の助成費
雑費	0	1,290	0	入金手数料等
予備費	30,000	0	30,000	治療補助費等
合計	402,000	355,492	47,798	

収入総額	¥477,513	支出総額	¥355,492	差引残高 (繰越金)	¥122,021
------	----------	------	----------	------------	----------

第3議案

会計監査報告

2023年度における「印西・地域猫友の会」会計につきましては、関係諸帳簿を監査したところ、適正かつ正確に処理されていることを確認しましたので、報告いたします。

理
18,345
17965

2024年4月17日

会計監査

不破 綱子



会計監査

戸嶋 智美



第1号議案 2023年度事業報告

1 河川と流域 保全・再生事業

(1) 亀成川

2015年に河川拡幅工事が終了した亀成川は、当会の生きものに配慮した河川改修への提言や工事中及びその後の生きものの救出・再生活動により、首都圏にありながら希少な在来種も存在している貴重な川となっている。しかしながら、外来種の種類や数の増加が見られ、また大幅拡幅され掘り下げられた川の管理がなされていないため、当会で毎年2回実施しているあみだくじ作戦（手作業での流路作り）では、従来の河川環境の維持が厳しい状況である。2023年度も実施したあみだくじ作戦については、効果的な再生作業の検討が必要となっている。

- 1 多様な流れの回復を図るため、あみだくじ作戦（流路やワンド作り）を2回実施した。
- 2 コウホネを植栽した区域に繁茂している外来種ナガエツルノゲイトウの駆除を引きつづき実施した結果、コウホネやヤナギモの繁殖区域が守られている。
（美しい手賀沼を愛する市民の連合会、印西市との協働事業「ホタルの里クリーン作戦」）
- 3 川の生き物の調査を3回実施した。（定例モニタリング調査2回、市との協働調査1回）

(2) 流域の谷津

亀成川の上流域の枝谷津のほぼすべてが、遊休田となり、ニホンアカガエルの産卵場所が急激に減少するなど、豊かだった生物多様性が劣化している現状を少しでもなんとかしたいと、生きものの田んぼ作りを継続した。また、ニホンアカガエル産卵場所を増やし、ホタルの生息環境を維持するために、みよ（水路）掘りを実施した。

- 1 榎戸谷津の遊休田については、新たに増えた田んぼを入れて2反の米づくりを実施した。
- 2 従来の斜面林下に加えて、田んぼの所有者の了解を得て、遊休田に水路を掘り、乾燥していた斜面林下のみよも掘ったところ、水が湧いて出て、2月にはニホンアカガエルの産卵が確認された。

2 谷津に親しむ公園作り事業

ニュータウン地域と里山地域を結ぶ別所谷津公園の水辺（別所谷津公園、下池（古新田川防災調節池）とその周辺の雑木林及び草地、緑地（一番下の湿地））は、かつて、生きもののサンクチュアリだったことから、生きものの維持、保全、復活を目指した。谷津と台地からなる生態系のすばらしさを維持、保全することに、周辺の住宅地に移り住んできた市民や企業の関心を向けて、保全活動への参加促進を進めようと試みた。

(1) 別所谷津公園池（印西市公園美化団体事業）

- 1 アメリカザリガニ駆除を継続した結果、捕獲されるアメリカザリガニの数は2018年などピーク時の3分の1となっている。ただし、他の生きものも減少傾向にあるようだ。
- 2 ギル釣り大会、刺し網によるギル捕りなど、市民参加の外来種駆除による池の生態系の貴重さをアピールした。
- 3 底部の貧酸素で濁った水の排水促進のために「底部優先排水堰」を排水口の手前に設置した。激しい降雨時は越流するので池表面の透明な水が排水されてしまう。改良を検討する。

(2) 下池（古新田川防災調節池）（千葉県河川海岸アダプトプログラム事業）

- 1 2017年まで池に繁茂していた希少な沈水植物の保護容器の管理を継続するとともに、容器で栽培したササバモ（池のササバモなどは富栄養化や土砂流入などによりほぼ絶滅し、トンボ保護容器として設置した容器に残るのみとなっているため）を池に投げ入れるなどの実験を行った。
- 2 池に堆積する土砂を流出させるための流出口の清掃を随時実施した。
- 3 アメリカザリガニ駆除を継続実施した。
- 4 コイの駆除に挑戦したが、かなわず、次年度検討事項となった。
- 5 池の北側の土手の草刈り

(3) 下池周辺の雑木林、斜面林（印西市公園美化活動事業）

- 1 森林・山村多面的機能発揮交付金事業として、下草刈り、竹刈などを実施した。
- 2 雑木林の活動については、枝拾いや落ち葉かきなど、市民参加のしやすい作業については、カブトムシのゆりかご作りや竹を使った遊び（竹の輪投げ、竹馬作り）など、楽しいイベントも同時に実施した。参加者がコロナ禍の時期に比べると減少傾向にある。

(4) 馬込原（印西市公園美化活動事業）

- 1 草地の植生を守るために草刈りと集草を2回実施し、また竹除伐やクズとりを近隣進出企業のボランティアを迎えて実施した。草刈りについては、裸地が見えるよう、刈草をしっかりとかき集めることが必要である。
- 2 在来種の保護のため、近隣の農家の畑に移植していた植物をすべて撤去し、馬込原に移植した。

(5) 緑地（印西市公園美化活動事業）

- 1 湿地の生態系を守るためにメダカ田んぼを維持し、周辺の草刈りを実施した。
- 2 川の中に繁茂しすぎているヨシを刈りはらい、デッキ下などの草刈りも実施した。
- 3 湿地内に点在する池において、アメリカザリガニ駆除を継続実施した。
- 4 トンボ保護容器の管理を兼ねてトンボレンジャー観察会を2回実施した。

(6) 外来種駆除の後継者育成

公園池、下池、緑地について、駆除人材の育成のため、アメザリバスターズやトンボレンジャーの育成については、力が及ばなかった。

(7) 滝野草地

草地保護のため、都市整備課に草刈り高調整をお願いし、一部草刈りを実施した。

3 調査事業

- 1 ホタル調査及びニホンアカガエルの卵塊調査については、例年通り実施した。ホタルについては、榎戸谷津や古新田川で見られたが、ヘイケボタルが見られなかった。緑地においても、ごく少数になっている。
- 2 ニホンアカガエル卵塊は緑地や榎戸谷津で増加しており、他の水のある枝谷津では近年になく多くの卵塊が見られた。
- 3 我孫子野鳥を守る会の協力により、冬の野鳥調査を実施した。
- 4 緑地において、主に昆虫の記録写真をとった。
- 5 植物、トンボなど、確認記録をとった。

4 啓発・学習事業

(1) 観察会、見学会、保全体験型イベント

市民の保全活動参加を促すため、保全体験型イベントを実施したが、参加者数が低迷しているため、今後の方法やPRについて検討する必要がある。

- 1 裏庭散歩シリーズ3回（オカリーナ演奏・落ち葉でお絵かき、竹の輪投げなど）
- 2 恒例の冬の鳥観察会は荒天のため中止となった。ニホンアカガエル卵塊探しと冬の生きもの観察会を実施し、また雑木林の保全体験や田んぼ作りでは随時観察会を実施した。
- 3 川の観察会 1回

(2) 保全作業体験

(1)の保全体験型観察会などにおいて、セイタカアワダチソウ引っっこ抜き、落ち葉掻き、枝拾い（カブトムシのゆりかご作り）、竹除伐などを実施した。

(3) トンボレンジャーとアメザリバスターズ

生きものとその生息・生育環境保全の後継者を育てるため、トンボレンジャーを観察会と兼ねて2回実施し、トンボ保護容器の手入れも1回実施した。

5 協働・連携・支援事業

(1) 印西市、他の市民団体など主催の啓発イベント協力

印西市主催のいんざい自然探訪に2回協力支援した。

(2) 滝野小ビオトープ支援

構造上の欠陥ため、ビオトープとしての機能を持たせることが困難な状況において、アメリカザリガニとカダヤシの駆除を継続したが、コウホネが根づかず、スイレンを植栽した。ただ、小学校がコイの飼育を開始したため、次年度からの支援については控える。

(3) 印西市と協働

- 1 亀成川の生きもの調査、水質調査、湧水の水質調査、ナガエツルノゲイトウ駆除を継続する。
- 2 2024年度から、緑地と田んぼにおいて、協働事業を申請し、審査を満票で通過した。意見交換会を開催し、緑地のデザインを検討した。

(4) 連合会等への参加

- 1 千葉県ボランティア協議会等のボランティア受け入れや印西市市民活動支援センター募集のボランティア受け入れに応募し、夏休みに多くの参加を得た。
- 2 関東・水と緑ネットワーク(事務局 日本生態系協会)が主催する現地見学会と研修会の会場となり、神奈川などの市民団体と交流を図った。
- 3 美しい手賀沼を愛する市民の連合会、手賀沼流域フォーラム、手賀沼水生生物研究会、神奈川トンボ調査・保全ネットワーク、全国ブラックバス防除市民ネットワーク、土浦の自然を守る会などから、協力を得て、事業を実施した。あらたにちば里山センターの会員となった。

6 広報事業

- 1 印西市主催の環境フェスタは荒天により中止となった。また市民活動支援センター主催のだんご祭りも建物の建て替えのため、実施されなかった。
- 2 ちばボランティアナビフェスタにパネル参加した。
- 3 活動イベントのお知らせちらしの近隣各戸配布、小学校配布を継続する。
- 4 ホームページ、フェイスブック、ブログを随時更新した。インスタグラムも発信した。

7 交付された助成金及び受託事業

2023年度は以下の助成金を受けて、事業を実施した。

- 1 森林・山村多面的機能発揮交付金
- 2 AWS (Amazon Web Service) in Communities 2023 助成金
- 3 ちば環境再生基金助成金
- 4 関東水と緑ネットワーク継続助成金
- 5 手賀沼流域フォーラム受託事業
- 6 美しい手賀沼を守る市民の連合会受託事業

2023 年度事業実績と従事者数

事業名	2023 年度事業内容	場所	回数	参加者数
河川と流域 保全・再生	亀成川の流路作り、ナガエツルノゲイトウ駆除	亀成川	3	47
	カエルとホタルを守るみよ（水路）掘り	上流谷津	3	17
	生きもの田んぼ作り（コメ作り）	榎戸谷津	72	498
谷津に親し む公園作り	雑木林の手入れ	下池雑木林	29	147
	草地の手入れ（馬込原と緑地の草地）	下池、湿地	20	74
	湿地の手入れ（草刈り）	緑地	15	44
	アメリカザリガニ駆除 （公園池、下池、緑地で 3039 匹）	池、緑地	70	73
	ギル・コイ駆除	池	5	135
	池周辺、トンボ保護容器	池、緑地	6	20
調査	植物、トンボ、ホタル、ニホンアカガエル卵塊、川の生きものなど	亀成川、流域、水辺	29	82
保全体験型 イベント	セイタカアワダチソウ引っこ抜き、カブトムシのゆりかごづくり	下池雑木林	5	107
観察会、PR 行事	雑木林の生きもの探し、川の生きもの観察、ニホンアカガエルの卵塊探し		11	214
学校支援	ビオトープのアメリカザリガニ駆除など	滝野小	2	29
組織	行政との調整、理事会、手賀沼流域フォーラム、美しい手賀沼を愛する市民の連合会理事会など		44	237
合計			314	1724

第2号議案 2023年度決算報告

科目	予算 (A)	決算 (B)	差異 (B-A)	主な内容
I 経常収益				
1. 受取会費				
正会員受取会費	128,000	97,500	-30,500	家族会員9世帯、個人会員35人（うち途中から入会）
賛助会員受取会費	15,000	15,000	0	5000円1人、2000円1人 1000円8人
2. 受取助成金	196,500	1,161,274	964,774	AWS689,536円と水と緑のネットワーク274,738円・千葉環境再生基金197,000円
3. 受託事業収益	130,000	92,565	-37,435	美手連80,615円、手賀沼流域フォーラム11,950円（冬鳥の観察会天候不順の為中止）
4. 受取寄付金	295,000	465,957	170,957	交付金事業は12人×3000円+216000円、田んぼの寄付金は28人28,000円でお米を返礼品としています。その他は各行事参加講師からの寄付
5. 受取補助金	295,960	228,060	-67,900	森林山村多面的機能発揮交付金三か年事業の最終年で里山保全増えて、収入減少
5. その他の収益	50,000	76,450	26,450	イベント（15回）の参加者からの参加費など
6. 行政から物品等受贈益	0	15,884	15,884	印旛土木事務所から混合ガソリン・印西市交流センター会議室使用料
6. 受取利息	0	3	3	
合計	1,110,460	2,152,693	1,042,233	
II 経常費用				
1. 事業費				
臨時雇い	270,000	216,000	-54,000	交付金事業参加者(延72人×日当3,000円)で全額当会寄付扱いになりました。
諸謝金	80,000	307,200	227,200	講師料、交通費（観察会、保全作業等）
印刷製本費	20,000	53,529	33,529	チラシ印刷代、コピー代、インク、コピー用紙等
燃料費	2,000	19,906	17,906	刈払機混合ガソリン、うち4ℓ缶3個を印旛土木からもらう。混合ガソリン62ℓ使用
消耗品・材料費	207,000	561,951	354,951	チェーンソー関連用品やベジトリマーや充電器、胴長などの購入
修繕費	5,000	0	-5,000	
賃借料	38,000	34,000	-4,000	軽トラック28回レンタル・トラクターのレンタル料と
旅費交通費	175,000	260,327	85,327	印西市外からの活動参加会員に交通費の一部支給、交付金作業参加者等を支給しました。
保険料	23,000	39,770	16,770	交付金事業活動参加者と一般事業のイベント参加への保険料支払い
減価償却費	0	4,125	4,125	2023年12月に物置を購入。15年償却で今年度4か月分償却
資機材	32,000	116,140	84,140	刈払機、刺し網・投網、アメザリ駆除、大型水槽を購入
雑費	30,000	73,038	43,038	振込手数料や活動時の茶菓子など
事業費計	882,000	1,685,986	803,986	
2. 管理費				
印刷製本費	10,000	5,899	-4,101	トナー代
通信運搬費	12,600	4,864	-7,736	事務局携帯電話料金や切手代など
事務手当	93,000	141,000	48,000	事務手当49,000円、助成金事務費92,000円
旅費交通費	10,000	6,482	-3,518	県庁・法務局への交通費
渉外費	25,000	28,719	3,719	協力農家などの渉外費
消耗品費	2,000	10,597	8,597	事務用品
加盟団体会費	5,000	8,000	3,000	美手連・千葉里山センター会費
会議費	10,000	1,990	-8,010	
賃借料	0	11,000	11,000	牧の原交流センター会議室使用料1時間当たり250円で44時間使用
その他雑費	3,000	4,020	1,020	振込手数料など
管理費計	170,600	222,571	51,971	
合計	1,052,600	1,908,557	855,957	
当期経常増減額	57,860	244,136	186,276	
前年度繰越金	510,131	510,131	0	
次期繰越金	567,991	754,267	186,276	物置の償却後の値段が増加額

貸借対照表			
2024年3月31日現在			
NPO法人亀成川を愛する会 (単位：円)			
科目	金額		
I 資産部			
1.流動資産(当座資産)			
現金 手持有高	41,399		
預金 普通預金 (ゆうちょ銀行)	447,199		
預金 振替口座 (ゆうちょ銀行)	75,753		
2その他の流動資産			
前払金 (印刷費・保険料)	8,541		
流動資産合計	8,541	572,892	
2固定資産			
固定資産 (物置)	185,500		
(減価償却累計額)	△4125		
固定資産合計	181,375	181,375	
資産合計			754,267
II 負債の部			
1.流動負債			
流動負債合計			
2.固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		510,131	
当期正味財産増減額		244,136	
正味財産合計			
負債及び正味財産合計			754,267
財務諸表の注記			
1.重要な会計方針			
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日、2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。			
消費税の会計処理は税込み方式によっています。			
現金の内40,000円は事務手当の原資に用途が制約された寄付金が含まれます。			

財産目録			
2024年3月31日現在			
NPO法人亀成川を愛する会 (単位：円)			
科目	金額		
I 資産部			
1.流動資産			
現金 手持有高	41,399		
預金 普通預金 (ゆうちょ銀行)	447,199		
預金 振替口座 (ゆうちょ銀行)	75,753		
流動資産合計		564,351	
2固定資産			
固定資産 (物置)	185,500		
(減価償却累計額)	△4125		
	181,375		
固定資産合計		181,375	
資産合計			745,726
II 負債の部			
1.流動負債			
流動負債合計			
2.固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産の部			745,726
財務諸表の注記			
1.重要な会計方針			
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日、2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。			
消費税の会計処理は税込み方式によっています。			
現金の内40,000円は事務手当の原資に用途が制約された寄付金が含まれます。			
各口座の3/31付の残高はゆうちょダイレクトで、確認済み。			

監査報告書

NPO法人亀成川を愛する会
理事長 小山 尚子 様

1. 会計監査の部

定款第15条第5項第2号(監事は、次に掲げる職務を行う。(2)この法人は財産の状況を監査すること)及び第44条第1項(この法人の事業報告・活動計算書・貸借対照表及び財産目録等の決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに理事長が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を経なければならない。)に基づき、2023年度における当会事業報告・活動計算書・貸借対照表及び財産目録に関し、帳簿類、領収書等を監査した結果、報告書の通り正確かつ適正であることを認めます。

2. 業務監査の部

定款第15条第4項第1号(監事は、次に掲げる職務を行う(1)理事の業務執行の状況を監査すること)に基づき、当会の業務執行について監査した結果、定款に則り、適正に処理されていることを認めます。

2024 年 4 月 3 日

監事 清水 孝真